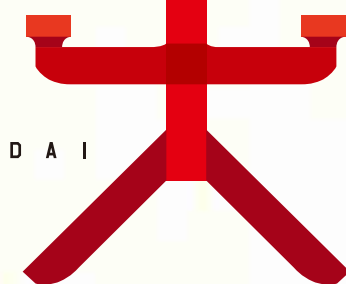


平城宮跡資料館 秋期特別展

地下の正倉院 平城宮第一次



の  
す  
べ  
て

奈良文化財研究所創立六十周年記念 平城宮跡資料館 秋期特別展

地下の正倉院

平城宮第一次大極殿院のすべて

2012年 10月20日 土 — 12月2日 日

午前9時から午後4時30分まで 入館は午後4時まで / 月曜休館 / 入場無料  
平城宮跡資料館にて(近鉄大和西大寺駅から東へ徒歩10分)

ギャラリートーク

会期中 毎週金曜日午後2時30分から11月第4週目のみ11月22日(木)▽

主 催 独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所

後 援 文化庁・国土交通省近畿地方整備局・国営飛鳥歴史公園事務所・奈良県教育委員会

奈良市教育委員会・読売新聞社・近畿日本鉄道株式会社・奈良交通株式会社・木簡学会

お問い合わせ 奈良文化財研究所連携推進課 tel. 074-21-306753



# 大極殿

のすべて

2012年  
10月20日 土

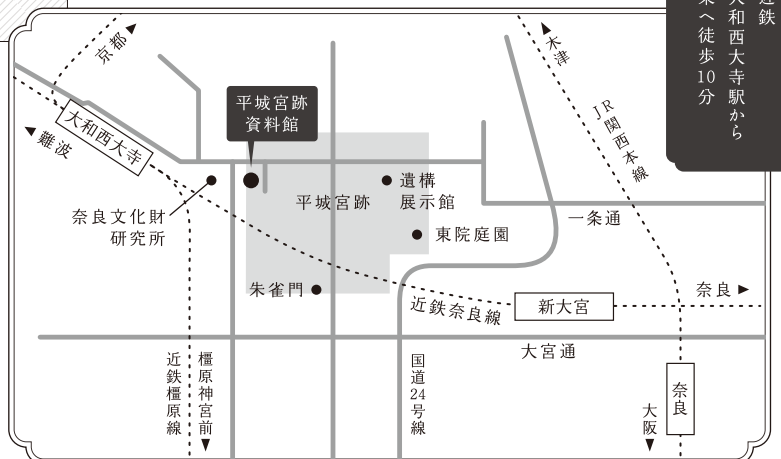
12月2日 日

午前9時から  
午後4時30分まで  
入館は午後4時まで

月曜休館 / 入場無料

平城宮跡資料館にて

近鉄  
大和西大寺駅から  
東へ徒歩10分



「西宮」周辺で出土した百萬塔  
(未製品)

## ギャラリートーク

会期中毎週金曜日午後2時30分  
～11月第4週目のみ11月22日(木)～

## 木簡の展示は

3期に分けておこないます

- 第一期 10月20日(土)～11月4日(日)
- 第二期 11月6日(火)～11月18日(日)
- 第三期 11月20日(火)～12月2日(日)

大極殿とは、古代の宮都における中心施設で、元日朝賀や天皇の即位など、国家儀式の際に天皇が出御する場所です。

奈良時代前半の平城宮には、大極殿を中心建物とする、築地回廊に囲まれた広大な空間——第一次大極殿院がありました。南面の築地回廊の中央には門が、さらにその両脇に楼閣建物が付設され、壮大な景観を誇っていました。奈良時代後半になると、大極殿院は東隣へ移り(第二次大極殿院)、この地は「西宮」と呼ばれる宮殿に変貌をとげます。

奈良文化財研究所では、1959年以来、47回にわたって平城宮第一次大極殿院地区を発掘調査し、その全貌を明らかにしました。2010年には成果の一部が結実し、第一次大極殿が復原されました。

本展では、第一次大極殿院地区で出土した瓦や巨大な柱根をはじめとする建築部材、多彩な内容の木簡、今はなき建物を彷彿とさせる検出遺構の写真や図面など、50年にわたる発掘調査成果をギュッと凝縮してお見せいたします。

『続日本紀』などの歴史書だけでは捉えきれない、古代国家の中核の様子を垣間みることのできる、またどない機会です。



左上:東楼の遺構 / 左下:磚積擁壁 / 右:第一次大極殿院復原模型



「高殿」と記された木簡

